## **Product Manual**

## 取扱説明書

2018年03月作成

Wharfedale Pro

# **VERSADRIVE SC-26**



#### 仕様

電源	AC100V-240V~ 50/60Hz
周波数応答 ( ± 0.5dB)	20Hz ~ 20KHz
DSP	32-bit
A/D D/A コンバーター	24-bit / 96 kHz
S/N 比	>110dB
ディレイタイム範囲	0-1000ms
フィルタータイプ	Linkwitz-Riley, Bessel, Butterworth Up to 48dB/oct.
EQ	6- バンド パラメトリック / low shelf / high shelf
メモリー	30 スロット 保存可能
入力数	出力:6入力:2
接続端子	PC 接続 :USB / RS485 x2 出入力端子 :XLR
	44 x 482 x 190mm / 3.6kg

### 製品の特徴

この度は Wharfedale Pro 製デジタル・マトリックス・プロセッ サー「VERSADRIVE SC-26」をお買い上げ頂き、誠にありがと うございます。

本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご 使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管

Wharfedale Pro「VERSADRIVE SC-26」は DSP 制御のデジタル・マトリックス・プロセッサーです。

最高品質の 24 ビット 96kHz AD/DA コンバータを内蔵し、40 ビットの内部 DSP プロセッサで処理されます。プロオーディ オのあらゆる面を細かく制御することができます。ディレイタ イム、コンプレッサー、リミッター、パラメトリックイコライ ザー、複数のハイパスフィルタとローパスフィルタの選択など、 システムが完全にバランスが取れるまでパラメータを調整する ことができます。

さらに詳細な設定が可能な、エディターソフトウェアが付属し ています。 これにより、すべてのパラメータをパソコン上で 編集できるようになり、固定設備やツアーで設定したパラメー ターを保存することもできます。また、経験の浅いユーザーに その制御権を与えないようにパスワードで保護することもでき ます。

### 特徴

- XLR 入力 x2 XLR 出力 x6
- デジタルサウンド処理
- 6バンドパラメトリック EQ
- クロスオーバーフィルター
- 各出力チャンネルの独立処理
- 設定編集用 USB 接続
- 30 スロット保存可能
- 設備のためのパスワード保護

# 安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に ふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



## 使用時の注意

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近 くで使用しない。 この機器やテレビ、ラジオ等にノイズが発生する場合があり ます。

 $\bigcirc$ 

**この機器のパネルのすきまに手や指を入れない**。 けがや傷害につながるおそれがあります。



この機器のパネルのすきまから金属や紙片などの異物を入れ ない。

感電やショート、火災や故障の原因となることがあります。 異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラ グをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または 発売元にご相談ください。



この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタン やスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。 機器の破損や傷害の原因となります。 ※不適切な使用や改造による故障の場合の保証はいたしかねます。

※使用後はかならず電源スイッチを切りましょう。

- ※電源オン時には、本体パネルや筐体の温度がやや上昇しますが、異常で はありません。気温が高い場合には温度も高くなる場合がありますので、 ご注意ください。
- ※この取扱説明書の写真・イラストは、実際の製品と一部ことなる場合が あります。
- ※この取扱説明書記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商 標です。

※仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。



	機能		
1	入力 / 出力 LED	ミュート、編集、信号やクリッピングを表示します。	
2	Mute/EDIT ボタン	押すとミュートされ、3 秒間押し続けると、入力と出力の両方のチャンネルを編集します	
3	LCD ディスプレイ	メニューや設定情報を表示します	
4	ロータリーエンコーダー	パラメーター選択や値の変更、決定を行います	
	EQ	すべてのチャンネルのイコライゼーション設定にアクセスします	
	X-Over	クロスオーバ出力設定にアクセスします	
	Limiter	出力チャンネルの制限設定にアクセスします	
5	Delay	アクセスタイムを補正しディレイを制御します	
	Gain	出力ゲイン設定にアクセスします	
	Rotary Control	信号の極性を変更します	
	System	システムメニューにアクセスします	
	Load / Save	格納されたパッチをロードします / 現在の設定をメモリーに保存してパッチを削除します	
6	USB 接続	温度リミッターが作動します LED は黄色に点灯します	

Wharfedale Pro/SC-26

# リアパネル 各部の名称



# ▶ オーディオ設定の編集

- 設定を編集するには、選択したチャンネルで MUTE / EDIT ボタンを 3 秒間押し続けます
- 2. 機能ボタン(EQ)を押すと、そのチャンネルの設定が表示されます
- ロータリーエンコーダーを回してパラメーター間を移動 します(例: High gain)
- ロータリーエンコーダーを押して、パラメーターを選択して編集します
- 5. 編集したら、もう一度ロータリーエンコーダーをクリッ クして新しい値を確定します。

### パラメトリック EQ 設定

パラメトリック EQ は、入力と出力の両方の各チャンネルで独立して機能します。周波数応答は 20Hz ~ 20kHz で、ゲインブーストは 20dB [+/-]、調整可能な帯域幅は 0.05Oct ~ 30ct です。

- 設定を編集するには、選択したチャンネルで MUTE / EDIT ボタンを 3 秒間押し続けます
- ロータリーエンコーダーを使用して周波数、ゲイン、帯 域幅をスクロールします
- ロータリーエンコーダーを選択したパラメーターに合わせ、ロータリーエンコーダーをそれに応じて回転させます
- 4. エンコーダをもう一度押して値を確認します。
- 5. EQ ボタンを押してチャンネルを切り替えることもできます

### 出力ゲイン設定

XLR バランス入力 x2

6

出力ゲインは 0.1dB 刻みで 12dB [+/-] に調整可能です。1 つまたは両方の入力を各出力チャンネルに送ることができます。

- 設定を編集するには、選択したチャンネルで MUTE / EDIT ボタンを 3 秒間押し続けます
- GAIN を押すと、その出力チャンネルでどの入力が使用されているかを編集する画面が表示され、ゲイン値は dB で表示されます。
- 3. エンコーダを回してゲイン値と入力を切り替えます。
- 4. 他の設定と同様にエンコーダを回して値を調整します。

### シェルビング EQ 設定

シェルビング EQ は Hi Shelf と Lo Shelf オプションでのみ出力 チャンネルで独立して動作します。 ゲインは、オクターブあ たり +6 または + 12dB の傾きで 20dB [+/-] に調整できます。

- 設定を編集するには、選択したチャンネルで MUTE / EDIT ボタンを 3 秒間押し続けます
- EQのボタンをを押し、パラメトリックから Hi または Lo シェルフに切り替えることができます。
- ロータリーエンコーダーを選択したパラメーターに合わ せ、ロータリーエンコーダーをそれに応じて回転させま す
- 4. エンコーダをもう一度押して値を確認します。
- 5. EQ ボタンを押してチャンネルを切り替えることもできま す

### 出力リミッター設定

ダイナミックリミッターは各チャンネルで独立して機能しま す。調整可能なパラメータには、-20dB ~ + 20dB、アタック 0.3 ~ 100ms、リリース 2/4/6/8/16 / 32x があります。

- 設定を編集するには、選択したチャンネルで MUTE / EDIT ボタンを 3 秒間押し続けます
- 2. LIMITER を押し、目的のパラメータを編集します。
- ロータリエンコーダを使用して、リミッターパラメータ をスクロールします。
- エンコーダを選択したパラメーターに合わせ、エンコー ダをそれに応じて回転させます。

#### クロスオーバー設定

各チャンネルは、各チャンネルの HPF と LPF で独立して動 作します。 カーブは Linkwitz-Riley、Bessel、Butterworth か ら選択でき 20Hz ~ 20kHz で、オクターブ当たり 12/18/24 / 48dB のスロープを保持します。

- 設定を編集するには、選択したチャンネルで MUTE / EDIT ボタンを 3 秒間押し続けます
- 2. X-OVER を押し、目的のパラメータを編集します。
- ロータリーエンコーダーを使ってクロスオーバパラメー ターをスクロールします。
- エンコーダを選択したパラメーターに合わせ、エンコー ダをそれに応じて回転させます。

### システム設定の編集

システム設定は、ロータリーコントロールを使用して、オーディオ設定と同様に編集されます。

- 1. SYSTEM を押してシステム設定にアクセスし、選択した設定をスクロールして押します。
- 2. コントロールを回転させて変更を加え、もう一度押すと設定が確定します。
- 以下のシステム設定を編集することができます

Device ID	250 台までのユニットを一緒に使用できます。 編成を維持するために、特定の Versadrive SC-26 ユニットの 数 / 順序を編集することができます。
ハスワード	6桁のハスワードで、権限のないユーサーからの制御をロックすることかできます。
バックライト設定	常時点灯や編集の 10 秒後に消灯など、バックライトを設定することができます。
現在のプログラム	現在使用されているパッチを表示します。
システム情報	ファームウェアのバージョンが表示されます。

# PC ソフトウェア操作方法

Versadrive SC-26 の設定は、USB 接続を介して PC から編集することができます。パフォーマンス中にライブで操作することも、パフォーマンスの前にユニットに設定を保存することもできます。RS-485 接続を追加することで、長距離ネットワークを使用することができ、一度に 250 台を PC から最大 1500m 離れた場所で使用できます。複数の Versadrive SC-26 ユニットを使用する場合は、ウィンドウの右側にある INTERFACE ボタンをクリックして、別のユニットを選択することができます。

#### EQ/クロスオーバー

Versadrive SC-26の中央パネルには、クロスオーバと EQ がビ ジュアルに表示されます。ビジュアルディスプレイ上でクリッ クアンドドラッグ方式を使用して EQ をコントロールするか、 下のコントロールを使用します。



### 入力 / 出力選択

右図は入力の画面です。1~6の編集するチャンネルをクリッ クすると、すべての設定が表示されます。CURVE ボタンを使 用して EQ カーブ表示に切り替えたり、リンクドロップダウン メニューでは多くのチャンネルに設定が複製されます。例えば CH2 と CH3 を 'link\_1' に設定すると、CH1 のエフェクト設定 が CH2 と CH3 に複製されます。

Link_1 v	Link_2	Care (14) Link_3 ·	Cane (1)	Carre (1) Link_5 •	Exme (10)
15H-L	15L-L	1884L	15H-R	15L-R	188-R
AB	A 8	AB	AB	AE	AB
CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6

### EQコントロール

右図は入力の画面です。1~6の編集するチャンネルをクリッ クすると、すべての設定が表示されます。CURVE ボタンを使 用して EQ カーブ表示に切り替えたり、リンクドロップダウン メニューでは多くのチャンネルに設定が複製されます。例えば CH2 と CH3 を 'link\_1' に設定すると、CH1 のエフェクト設定 が CH2 と CH3 に複製されます。

Mode	ta_Sh +	Param +	Param ¥	Faram +	Param *	Param +
FOCY HE	23.4 -	81.1	315 -	1890 -	5040 -	19585-4
BW oct	-	0.30 -	0.30	1.30 -	0.30 -	0.30 +
QP/SLOPE	648 -	4.530	4.850	4.500	4.800 -	4.800
Gain	-20.0 -2	0.0 -	10 -	10 2	47 : :	20 20
	20-	20	20-	20	207	20
100	GC 101	EO 101	EO 10-	EQ 10	GO 0	EQ 10-
ON	-100	2 -10	3 -10	4 -10	D -100	6 -10

#### 入力チャンネルの追加設定

特定の入力チャンネルを選択すると、EQの左側に、音量、極性、 ディレイ、ノイズゲートが表示され、設定を追加することがで きます。 ディレイ設定にはフィートのコントロールもあります



### 入力チャンネルの追加設定

編集のために出力チャンネルを選択すると、EQの左側にある ボリュームディレイと極性を編集することができます。 また出力チャンネルは、クロスオーバー、コンプレッサー、リ ミッター設定にもアクセスできます。スタンドアローンの場合 と同様に設定できます。

また、クロスオーバ周波数は上の EQ ディスプレイにグラ フィックで表示されます。

Volume	Delay	Delay Compressor /Limiter		X-OVER	
12- 0-1- -18- -30- -64- -80- -12.0 - -4 All Values	0.000 + ma 0.000 + m 0.000 + tt y Polarity + +	Threshold dBu OFF + Attack ms 0.3 + Reference ms 50 +	HPF Mode FOCY Hu 19.7 da SLOPE officer 12dB/C V	LPF Mode Buttert • POCY He 20000 - SLOPE dBloct 12dB/C •	

#### 設定の保存と呼び出し

SC-26 は、PC と Versadrive SC-26 の両方にパッチを保存する ことができます。この操作は単一のパッチでも機能しますが、 30 個のパッチすべてを PC やデバイスに読み込むこともできま す。

REPORT 機能を使用すると、SC-26 の設定がスプレッドシート 形式で表示され、Excel にエクスポートしたり、後で参照でき るように保存することができます。

プログラム名と番号は Wharfedale Pro ロゴの画面左上に表示 されます。

Save prog	Devi ram to device ram from device	Ice Program Program Name NO
No.	Type	Group Name 🔗
Vogrami	User	
rogram2	User	
togram3	User	
vogram4	User	
rogram5	User	
Yrogram6	User	
Program7	Liser	
-	**	
Save 1 pro;	e PC grain to PC grain from PC	Delete
Load 1 prog Save all pro	grams to PC	

#### パスワード保護

パスワード保護オプションは、出力ゲインだけでは機能しません。

それぞれのエフェクト、インプット、アウトプットは、パスワード画面のティックボックスインターフェースを使って選択することができます。

# **SC-26**の接続

下の図は、Versadrive SC-26 を PC に接続し、複数のユニットをリンクする方法を示しています。 Versadrive SC-26 は PC のみで 動作しますのでご注意ください。 CD-ROM に収録されているドライバをインストールするか、www.wharfedalepro.com からダウ ンロードしてください。



この取扱説明書は、IDE コーポーレーション有限会社が制作しています。 発売元:IDE コーポレーション有限会社 〒 530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24